

環境の視点からの沖縄振興

環境省 那覇自然環境事務所

環境に関する主なキーワード (中間報告より)

ヤンバルクイナ

エコツーリズム

CO2排出量

自然再生

サンゴ

自然エネルギー

環境共生型社会

世界に誇る「琉球諸島」の価値

世界自然遺産に登録され得る候補地、亜熱帯照葉樹林

環境資源と地域経済との関わり

生態系サービスの経済評価、エコツーリズムの地域への貢献等

国際生物多様性年(2010年)の動き

COP10の開催、沖縄県地域生物多様性戦略の策定等

「琉球諸島」は世界自然遺産の候補地

- ・平成14年度に、環境省及び林野庁が次の世界自然遺産登録の候補地を選定するため、「世界自然遺産候補地に関する検討会」を開催。
- ・19地域を詳細検討の結果、登録基準を満たす可能性のある地域として、「知床」、「小笠原諸島」及び「琉球諸島」の3地域が選定。

※ただし、3地域それぞれに課題があり、直ちに世界遺産に推薦できるわけではない。

○知床 →平成17年に登録

○小笠原 →平成22年1月に正式推薦書を提出、審査中。

琉球弧



豊かな生物多様性～多くの固有種と希少種～

驚くほど多様な生物が生息。琉球列島にしかない「固有種」も。



沖縄北部の森は世界的にも数少ない 亜熱帯常緑広葉樹林

- 亜熱帯(北緯20～30度)に位置する
- 年間を通して暖かい
- 季節風や海流(あたたかい黒潮)の影響で雨が多い

